

平和を語る市民のつどい

今年度は、貧困問題から平和とは何かを学びます

バレンタインに私たちが食べるチョコと、
アフリカの子どもたちが学校に行かずに
働いているのが関係しているって本当ですか？



写真提供：映画『バレンタイン一揆』より



イベント内容(詳細は裏面参照)

- ① 講演会 (講師：児童労働の予防と撤廃に取り組むNPO「ACE」代表 岩附由香さん)
- ② 映画上映 (ガーナの児童労働問題をテーマにした『バレンタイン一揆』)
- ③ ワークショップ (児童労働問題をテーマにした中高生による討論・発表)

日時：令和6年**1月21日(日)** 午後1時～午後4時

会場：川崎市平和館 屋内広場(定員:150人)

手話通訳・要約筆記・
託児サービスあり(要予約)

■ オンライン視聴(定員:180人)

令和6年1月21日(日)午後1時～2月29日(木)

(映画配信は1月24日(水)午後1時30分まで)

※オンラインでは、②の映画には字幕・手話通訳がつきません。

会場・オンラインともに視聴無料・要申込

- 令和5年12月15日(金) 午前9時から
先着順で申込受付：市HPから⇒
(会場視聴は下記電話でも受付)
- 会場参加者には特典あり(裏面参照)



会場アクセス



- JR南武線・横須賀線・東急東横線・目黒線
「武蔵小杉」駅から徒歩約10分
- 東急東横線・目黒線「元住吉」駅から徒歩約10分
※駐車場が狭いため、公共交通機関をご利用ください。

【主催】川崎市

【共催】川崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会
(横浜地方法務局川崎支局、川崎人権擁護委員協議会、川崎市)

【問合せ】川崎市市民文化局人権・男女共同参画室

電話 044-200-2688 FAX 044-200-3914

平和を語る市民のつどい イベント概要

① 講演テーマ

バレンタインに私たちが食べるチョコと、アフリカの子もたちが学校に行かずに働いているのが関係しているって本当ですか？



講師：特定非営利活動法人ACE 代表 岩附由香さん

14～16歳まで米国ボストンで過ごし、桐朋女子高等学校卒業。上智大学在学中、米国留学から帰国途中に寄ったメキシコで物を乞う子どもに出会い、児童労働と教育を研究テーマに大阪大学大学院へ進学、国際公共政策修士号取得。在学中にカイラシュ・サティヤルティ氏（2014年ノーベル平和賞受賞）の呼びかけた「児童労働に反対するグローバルマーチ」をきっかけにACEを発足させる。その後、NGO、企業、国際機関への勤務やフリー通訳を経て、2007年よりACEの活動に専念。2017年アルゼンチンでの第4回児童労働世界会議では発表を行うなど、国内外のアドボカシー（権利擁護）活動に力を入れている。2019年Civil 20（大阪G20サミットに向けた世界の市民社会組織の会議体）の議長を務める。

② 映画『バレンタイン一揆』あらすじ

児童労働って？ フェアトレードって？ 小さな一歩をふみだした、日本の女の子たちの奮闘記。

チョコレートの原料、カカオ豆を、どこで誰がつくっているのか、あなたは知っていますか？

児童労働を学ぶセミナーに参加していた日本の普通の女の子3人が、派遣先のガーナ（アフリカ）で出会ったのは、たくさんの子もたちがカカオ農園で働かされ、学校に通うこともできない現実でした。

バレンタインデーに、フェアトレード（発展途上国の生産者に適正な対価を払った貿易取引）によってつくられた、ほんとうに愛のあるチョコレートを、日本のみんなに選んでほしい。彼女たちは動き出しました。イベントの名は、「バレンタイン一揆」。果たして、彼女たちの想いはみんなに届くのか?? これは、児童労働の問題と出会い、悩み、闘った、日本の女の子たちの物語です。（上映時間：約65分）



③ 児童労働問題を考えるワークショップ

ガーナの児童労働問題の解決のため、私たちはどのように行動すればいいのか。講師の講演を聴き、映画を鑑賞した市内の中高生たちが討議し、発表します。

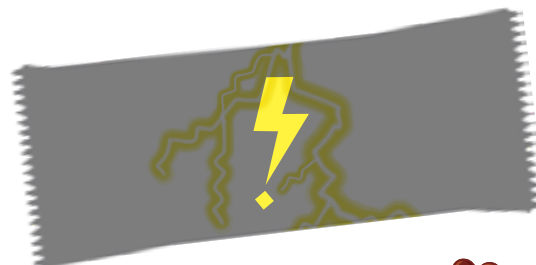


昨年のワークショップの様子
（テーマは「核軍縮」）

ワークショップの参加者募集は
終了しております。

【会場参加者特典】

あの有名チョコを、ちょこっと進呈



児童労働問題に配慮された
カカオ原料（チョコ原料）を使用

